

大原社会問題研究所五十年史

III 本格的事業の展開から東京移転まで〔一九二三～三六年〕

ドイツ語ゼミナールの開講

社会統計学院とならんで、権田委員の提唱により、ドイツ語の教授を目的とする天王寺ドイツ語ゼミナールが附設されたのはこの年の四月である。天王寺ゼミナールのスタッフは、主宰・高野岩三郎、主任・権田保之助で、講師は前記二氏のほか、笠信太郎、藤峰轍定、富士田英三その他の諸氏である。ゼミナールは初等科、中等科、高等科にわかれ、一期の聴講料は五円である。第一回の開講式は四月一八日で、講習会は、同日から月末まで毎晩二十数名の聴講者の参加をえておこなわれた。このドイツ語講習会は、七月、九月、一一月とそれぞれ各科別に開講された。

法政大学大原社会問題研究所五十年史

発行 1970年11月

編・発行法政大学大原社会問題研究所

[前のページ](#)← [法政大学大原社会問題研究所五十年史【目次】](#) → [次のページ](#)

[研究活動・刊行物](#) [OISR.ORG全文検索](#)

[法政大学大原社会問題研究所\(http://oisr.org\)](http://oisr.org)
